

# アーサー・ビナードを囲む朗読＋お話し会

—— コロナ禍の開催と図書館の運営について ——

林 伸 一

## 1. はじめに

詩人であり絵本作家でもあるアーサー・ビナード氏（Arthur Binard、1967年7月2日生 -以下ビナード氏）を招いて朗読会を企画したところ、ちょうど2021年8月11日の「山の日」が都合がいいということになった。早速、会場予約に行ったところ同日は休日でもないし、「山の日」は8月8日に変更されているとのことであった。

カレンダーや手帳を見て、8月11日が「山の日」で休日であることを確認していたので、「そんなバカな！」「ありえない！」と思った。調べてみると7月19日の「海の日」が東京五輪開会式の前日の7月22日に、10月11日の「スポーツの日」が7月23日開会式の日に移動されていることがわかった。同様に8月11日「山の日」が、東京五輪閉会式の8月8日に変更になり、9日の月曜日が振り替え休日になっていた。狐につままれたような心持ちであった。2020年11月末の国会で決まったので、2021年のカレンダー印刷に間に合わなかったのだ。

10種類以上のカレンダーをチェックしたが、みな上記の休日の変更は示されていない。地区のごみ収集カレンダーだけは、変更された休日が見されていた。春の時点では東京五輪が開催されるか否か、無観客か否かに議論が集中して、「海の日」「山の日」「スポーツの日」の移動にともなう変更は、ほとんど話題になっていなかった。このままでは、カレンダー通りにイベントが組まれたり、仕事の予定を入れたりすると混乱が生じることが予想されると思い、朝日新聞の「声」欄に警鐘のための投稿したところ6月22日に掲載された。

カレンダー上の10月11日の「スポーツの日」も元は「体育の日」として1964年の東京五輪の開会式の日を記念して、1966年に制定されたものである。当時は、涼しい秋に五輪大会が開催されていたのであるが、近年は五輪のスポンサーである米国テレビ局からの圧力で、夏の開催が常態化している。

五輪選手のことを第一に考えるなら、熱中症の心配のある真夏の開催から秋の開催に戻して実施するほうが望ましい。特にコロナ禍で熱中症と似た症状を示すといわれる新型コロナの感染を区別するためにも10月開催が望ましい。ビナード著『そもそもオリンピック』（スズキコージ画／2020 玉川大



学出版部)が問いかける、「そもそも誰のための五輪なのか」を再度考えてみる必要があるだろう。

政府の都合で、2020年は8月10日に、2021年は8月8日へと動かされた「山の日」は、今後8月11日に固定して実施してほしい。風林火山を引くまでもなく「動かざること山のごとし」で「山の日」は軽々に動かさないでほしい。というのも2年前の2019年8月11日に「アーサー・ビナードとともに平和を考える朗読会」が山口の朗読屋さん主催で100名の参加者を得て、実現した記念すべき日だからである。詳細は、「アーサー・ビナードについての研究」(2020、林)参照。

## 2. 「アーサー・ビナードを囲む朗読+お話し会」の企画

2021年8月15日(日)1時~4時に「アーサー・ビナードを囲む朗読+お話し会」が山口市市民会館小ホール(山口市中央2丁目5-1 ☎083-923-1000)で開催できるように企画した。主催は山口の朗読屋さんであるが、事前に山口市教育委員会の後援と山口きらめき財団からの助成を申請し、採択された。当日のプログラムは、以下のビナード氏の翻訳絵本を紹介し、本人に解説してもらう形で企画し、次に示すような告知のポスターおよび葉書を作成した。

**2021年8月15日(日)1時~4時**  
**アーサー・ビナードを囲む朗読+お話し会**

会場：山口市市民会館小ホール(山口市中央2丁目5-1) 定員：94名  
☎083-923-1000

●アーサー・ビナードの翻訳絵本  
エリック・カール作『ありえない!』  
『Heartbloom Hill』(花さき山)  
斎藤隆介・文、滝平二郎・絵、ビナード氏朗読  
『ウトウとクイナ』三上寛・文、黒田征太郎・絵  
●石丸義臣によるギターの弾き語り：  
『はじまりの日』『すばらしいみんな』ほか

●参加費無料・事前予約受付中  
◎参加希望の方は、下記までに住所・氏名・  
電話を書いた葉書かFAXでご予約ください  
●予約先・問い合わせ連絡先：  
〒753-0815 山口市権新公園1-12-5  
山口の朗読屋さん(主催団体代表：林博一)  
☎090-6415-8203 FAX:083-920-8459  
後援：山口市教育委員会



2021年8月15日(日)1時~4時  
アーサー・ビナードを囲む朗読+お話し会 プログラム

時間	内容	担当	備考
18:00~	開会	司会：金崎・林	あいさつ・メンバー紹介
18:10~	オープニング朗読 オープニングソング	ギター弾き語り 石丸義臣	『はじまりの日』西村 『すばらしいみんな』内藤
18:20~	絵本の翻訳について	アーサー・ビナード	同上
18:40~	『ありえない!』	山口の朗読屋さん	絵本の朗読：金崎・A.B
18:45~	最近ありえない話	アーサー・ビナード	東京五輪、新型コロナ
14:00~	休憩・サイン会	アーサー・ビナード	四書の頒布
14:10~	『Heartbloom Hill』(花さき山)	岡村・田中・小田+ アーサー・ビナード	日本語→英語 朗読→お話し 『モチモチの木』の翻訳
14:30~	『雨ニモマケズ』	福田百合子・ビナード	日本語→英語 朗読→お話し
15:00~	休憩・サイン会	アーサー・ビナード	四書の頒布
15:10~	『ウトウとクイナ』 三上寛・黒田征太郎	山口の朗読屋さん+ アーサー・ビナード	日本語→英語 朗読→お話し (ギャラクシー賞：再放送予定)
15:45~	ギター弾き語り	石丸義臣	三上寛の『夢は夜間く』 『アラサー絆』『一人の道』
18:00	閉会	司会：金崎・林	アンケートへの記入依頼

エリック・カール作『ありえない!』、斎藤隆介・文/滝平二郎・絵の『花さき山(Heartbloom Hill)』、宮沢賢治・文/山村浩二・絵の『雨ニモマケズ』の英語訳をビナード氏に朗読してもらい、三上寛・文/黒田征太郎・絵の『ウトウとクイナ』も紹介することとした。主に作品の紹介と解説に力点を置いたが、ビナード氏の眼を通して見た不思議で矛盾だらけの日本社会の「ありえない話!」に期待した。

## 3. 「アーサー・ビナードを囲む朗読+お話し会」の実施

1945年から76年目のあたる2021年8月15日の敗戦の日に、「アーサー・ビナードを囲

む朗読+お話し会」が山口市民会館で予定通り開催された。

詩人のビナード氏は1967年アメリカ合衆国ミシガン州生まれ、子どもの頃から父親とたびたび溪流釣りに出掛け、川と湖の生き物に魅せられた。大学で英米文学を学び、卒業と共に来日して、日本語でも詩作を始めた。詳細は、「アーサー・ビナードについての研究」(2020、林) 参照。

2001年ビナード氏が『釣り上げては』(2000、思潮社) で中原中也賞を受賞して以来、山口との交流が続いている。広島在住で、自然の豊かさ、環境の大切さを伝える本、また、原爆と放射能汚染の問題を被害者、市民の命と暮らしの側に立って、深く鋭く平和について語りかける絵本や紙芝居『ちっちゃいこえ』(2019、童心社) が出版されている。詳細は、「アーサー・ビナードと谷本清平和賞—絵本と紙芝居の果たす役割を考える—」(2021a、林) 参照。

### 3-1. オープニング朗読+オープニングソング

8月15日のプログラムでは、『はじまりの日』(ボブ・ディラン作/ポール・ロジャース・絵/アーサー・ビナード訳/岩崎書店 2010) の朗読と石丸義臣氏(山口児童館館長) によるギターの弾き語りから始められた。ボブ・ディランの作品を翻訳するにあたって、ビナード氏は、原作には「生まれてきた子どもの毎日が発見、毎日が驚き、生き生きできますように」という意味が込められている」とし、原題の《Forever Young》を直訳して、「いつまでも若く」としたのでは、アンチエイジングの内容と勘違いされそうなので、『はじまりの日』としたとのこと。



ボブ・ディランは2016年ノーベル文学賞を受賞したが、同書はそれより前の2010年に岩崎書店より発行された。ノーベル文学賞のような権威主義が嫌いなビナード氏は、訳本が売れるのはうれしいけれど報道関係の取材からは、逃げ回ったとのこと。

第2のオープニング朗読+オープニングソングは、『すばらしいみんな』(ボブ・シール&ジョージ・デヴィッド・ワイス作/ティム・ホプグッド絵/アーサー・ビナード訳/岩崎書店 2014) であった。残念ながら、出版元の岩崎書店にも在庫なしの品切れ状態が続いている。主催者としても図書館の本を利用して、朗読の練習を行なって本番に臨んだ。今後、増刷し再販されることを期待したい。



### 3-2. 『ありえない!』

『ありえない!』は、2021年4月に偕成社より出版されたが、2021年5月23日に亡く

なったエリック・カールの遺作となる作品で、原題は《The Nonsense Show》。英語の<nonsense>という語は、外来語「ナンセンス」として日本語の中に定着しているので、そのまま『ザ・ナンセンス・ショー』としても良かったのかもしれないが、それをあえて『ありえない!』としたところが、ビナード氏の言葉選びの成せる業と言えるだろう。

英語の<nonsense>には、第一義的に「意味のないこと」「ばかげたこと」「つまらないこと」といったマイナスのイメージがくる。日本では、かつての全共闘時代に「ナンセンス!」が盛んに使われていた。『全共闘時代用語の基礎知識』(1960-1975)には、次のように書かれている。

●ナンセンス【なんせんす】〔かけ声〕

大衆団交や討論のときなどに、相手が間違っただけをいったり、相手のいったことに反対したい場合のかけ声。馬鹿げたこと、間違っている発言などを指す。「なんせんす!」といった口調であった。この「ナンセンス」と「異義なし」の二つを知っていれば、即刻、全共闘になれた。自由国民社の「現代用語20世紀事典」によると、60年安保当時から学生が使ったとあるが本当か。《反対語：異義なし》

(<http://zenkyoto196075.blog.fc2.com/tb.php/7-82a0a6e5>)

ところが同じ<nonsense>であっても「ありえない!」とすると「既成概念を打ち破るような新しい発想」「今まで考えもつかなかった着想」の意味合いを含むプラス・イメージを伴う場合がある。そもそも芸術作品は、「なんだ?!これ」と現実世界には「ありえない」ものを創出することであろう。

エリック・カールの代表作である『はらぺこあおむし』(1976、もりひさし訳/偕成社)という作品も、絵本の中に青虫が食べた葉っぱに実際に穴をあけてしまうという「ありえない」ものを創出したために、世界的に人気絵本となっている。ちなみに穴あき絵本の印刷を米国の印刷屋が「できない」と断ったために、日本の会社が印刷したというエピソードをエリック・カール自身がNHKのテレビ番組「追悼エリック・カールさん『はらぺこあおむし』誕生秘話」(2021年5月28日放送・2017年来日した際のインタビュー取材)で語っていた。同じくエリック・カール作『えをかくかくかく』(2014、偕成社)もビナード氏が翻訳しているが、表紙には現実には「ありえない」青い馬が描かれている。

絵本の『ありえない!』も、サーカスで子どもと動物が入れ替わったり、鳥が水槽に、魚が鳥かごに入れられたり、ネズミが猫に紐をつないで散歩させたり、奇想天外

で奇抜な絵の連続で、発想の転換、頭の体操になるように、楽しく構成されている。固定観念に囚われていると「意味のないこと」「ばかげたこと」「つまらないこと」と否定的にしか捉えられず、「ありえない」絵を楽しむ余裕が持てない大人もいるであろう。

ビナード氏の「最近ありえない話」では、東京五輪をこの新型コロナ変異株急拡大の中、開催して多くの人の命を危険にさらし、医療体制の崩壊を招く、IOCの営利主義、政府の無策を鋭く批判した。無観客開催となったが、それは観客による試合の不正チェック機能が働かない状態をつくりだすとビナード氏は述べている。

### 3-3. 『Heartbloom Hill (花さき山)』

続いて、『Heartbloom Hill (花さき山)』(斎藤隆介・文／滝平二郎・絵／アーサー・ビナード訳／岩崎書店 2020.11)を山口の朗読屋さんが朗読し、ビナード氏に英訳文を読んでもらった。



編集者は、当初同じページに日本語と英語が表示されるバイリンガル形式での出版を企画したようだが、ビナード氏の意向で、日本語の部分は巻末に付録のようにまとめ、本編は切り絵と英語だけにしたとのこと。それは、滝平二郎の切り絵は、黒い背景部分が大切なので、あまり文字を並べてしまうと切り絵の良さが損なわれるからとの理由による。日本語の本文が11行あるのに英訳が三行しかないページもある。それだけ文字数を切り詰めたとのことであるが、原文に忠実な翻訳というよりは、翻訳者の解釈に基づく大胆な意識であることがわかる。

貧しい村の娘あやが山菜取りに山に入って、道に迷い、気づくと一面に花が咲いている。山姥がいうには、あやが晴れ着を我慢して、妹のために譲る思いやりで森に一輪の花が咲いたという訳だ。そこに広がる花はそれぞれ、村人の優しさや健気さの証なのだという。ただし、小学生に「けなげさ」という語がわかるであろうか。

山姥が語る話には、命をかけて高波を防ぎ、村を守った「八郎」や「三コ」など、秋田の民話が出てくる。確かに斎藤隆介・文／滝平二郎・絵の『八郎』(1967)や『三コ』(1969)が福音館書店から発行されている。「八郎」も「三コ」も働く貧しい人々のために命を捧げて死ぬ巨人という他愛主義・自己犠牲という共通点がある。

斎藤隆介・文／滝平二郎・絵の『花さき山』『モチモチの木』にも同様の共通性がある。しかし、『花さき山』(1969)の中に「八郎」と「三コ」を登場させるのは、出版社の意向かもしれないが、読者には、やや唐突感があり、自作宣伝のCMと取られかねない。『花さき山』自体の話の流れとはそぐわない感じがする。

『花さき山』は、刊行から50年を経て、2019年1月18日のNHKの「あさイチ」とい

う番組で紹介されている。同番組のプレミアムトークのゲストとして元厚生労働省事務次官の村木厚子氏がゲストとして出演し、「人は、何ももっていなくても何かをすることができる。そうして咲いた『花さき山』の花は、その人自身を励まし、強くする」と冤罪で164日間の拘留中に支えになった本として推奨している。

厚生労働省を退職後、村木厚子氏は、若い女性への支援活動に携わり、女性の労働について同番組でも語ったようだ。『花さき山』の中の主人公あやは妹のために新しい着物を誂めたり、一人で山に山菜採りに出かけたり、妹を背負っての子守りとヤングケアラー（young carer）の問題を抱えているように見える。その点について村木氏はどのように考えているのであろうか。

小学校の光村図書の4年生用道徳の教科書にも『花さき山』がとりあげられているが、妹思いで家業を手伝う少女の美談として終わらせていいのだろうかという疑問が残る。

ヤングケアラーの問題について、ビナード氏はあまり関心がないようで、『花さき山』のあやのような子供が家庭の貧困のためや児童労働のために学校に行けないことがあってもさほど問題はないという。最近では、新聞やNHKの番組でも本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーの問題が取り上げられるようになってきたが、学校に行っている子供が幸せで、行けない子供が不幸せかというとその逆だという。学校に行っている子供は、IT教育のためにiPadを持たされ、否応なく電磁波を浴びせられている。学校に行っていない子供は、その心配がないとビナード氏は主張している。

ビナード氏の翻訳絵本『父さんがかえる日まで』（モーリス・センダック作／偕成社 2019）の主人公アイダも妹の子守りをしたり、誘拐犯（ゴブリン）から妹を取り戻したり、一人裸足で奮闘している。この話にもヤングケアラーの問題が含まれていると言えるだろう。（詳細は、林 2021b 参照）



ビナード氏が不登校であったか否かは知るころではないが、今でも携帯電話を持たずに日本全国を歩き回っている。ビナード氏を講師に講演会を企画している団体の側は、事前の打ち合わせや確認ができずにヤキモキしていることが多いであろう。

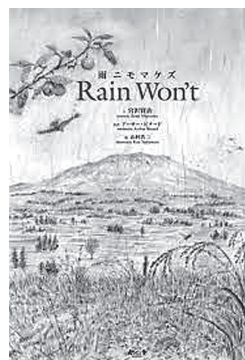
今回の企画もコロナ禍にあって、その上、大雨が降ってJR山口線が止まるなどの事態が起きたが、固定電話やファックスでは、前日まで不在のビナード氏に連絡がつかず、ビナード氏が出演できない場合を考えての代案も用意していたほどであった。

電話嫌いの作家としては、夏目漱石やアメリカのマーク・トウェインがいるが、電話を発明したグラハム・ベルの好意によりトウェインは、電話の便利さとありがたさ

を身に染みて味わった。ビナード氏は、トウェインを気取っているわけでもなからうが、あまりの頑なさを通して、周りの共感を得ることが困難となるであろう。

### 3-4. 『Rain Won't (雨ニモマケズ)』

宮沢賢治の『雨ニモマケズ』に山村浩二が絵をつけ、ビナード氏が英訳し、英語タイトルは、《Rain Won't》とした。今人舎から2013年に出された絵本には、岩手山を背景に生き物がいっぱい風景が広がっている。宮沢賢治は1896年岩手県生まれ、盛岡高等農林学校（現在の岩手大学）に進学して、土性調査や肥料の研究に励み、短歌と詩、童話を書き始めた。1933年に急性肺炎で死去、生前に出版された作品としては、童話集『注文の多い料理店』と詩集『春と修羅』のみで、没後にこの『雨ニモマケズ』を含め、数々の傑作が世に出された。



『雨ニモマケズ』を読んで、日本語で書かれているので、日本の話と思うであろうが、ビナード氏は『亜米利加ニモ負ケズ』（2011、日本経済新聞出版社／2014、新潮社新潮文庫）の中で「雨ニモマケズ」の詩に遭遇したとき、「どことなく、くすぐったいように懐かしかった」と述べている。

「アメリカの郵便局の、あのモットーというかスローガンじゃないか」と驚嘆したという。「雪も、雨も、暑さも、夜の真っ暗闇でさえも、配達人たちが、その与えられた任務を速やかに果たすことの妨げにはならない」とニューヨーク中央郵便局の正面の柱に大きく英文で刻んである内容に類似性を感じている。

8月15日の主催者としては、『花さき山』と『雨ニモマケズ』に共通する愛他性や自己犠牲の精神に着目し、「八郎」や「三コ」などを含めた東北地方を題材とする作品の類似性について、ビナード氏に語ってもらいたかった。ところが、ビナード氏に「東北地方という言い方は嫌いだ」と一蹴され、コメントは得られなかった。

ビナード氏としては、賢治の『雨ニモマケズ』とアメリカの郵便配達人のスローガンの類似性から「もしかして日本語が原文なのだろうか」とさえ疑っている。古代ギリシャの歴史家であるヘロドトス（Herodotus、生没年不詳）が、紀元前550年～紀元前330年のペルシャ帝国の栄枯盛衰を描いた『歴史』の中に、次のような飛脚についての記述があるのをビナード氏はつきとめている。

「雪も、雨も、暑さも、夜の真っ暗闇でさえも、そのメッセンジャーたちが、任された区間を全力疾走することの妨げにはならない」。

宮沢賢治が岩手の自然とそこに暮らす人を詠んだ明治から大正時代の自然の厳しさ

と現代日本の便利な生活環境は、大きな隔たりがあるだろうが、今なお賢治の詩が胸を打つのは、時空を超えた価値観によるのかもしれない。

### 3-5. 『ウトウとクイナ Puffin and Rail』

8月15日に三上寛の『ウトウとクイナ Puffin and Rail』（アーサー・ビナード訳）が原文の日本語と英語訳で朗読された。

主人公の鳥ウトウは、漢字で書くと「善知鳥」となり、英語では<hornbilled puffin>という。ウミスズメ科の鳥で、翼長17.5cmほどである。背面は黒褐色、体側が灰褐色で、北米北部、アリューシャン列島、サハリン、千島、北海道、本州北部等の島で繁殖する海鳥である。冬は南下する。群生し、魚を食べる。（注1）



善知鳥文治安方は、近松半二（1725-1783）ら合作の浄瑠璃「奥州安達原」（1762初演）や山東京伝の読本『善知鳥安方忠義伝』（1806刊）などで、罪ある亡き主人の世に秘すべき遺児をかくまう役所を負って活躍している。命名の由来は、ウミスズメ科の海鳥ウトウの鳴声にまつわる和歌説話によるとされている。母鳥が空中で「ウトウ」と鳴くと、地上に隠れている子が「ヤスカタ」と応えるという。

善知鳥（うとう）は、生前鳥獣を殺傷した罪で成仏できない獵師の霊が、かつて子鳥と親鳥を引き離したために、死後わが子に近づくこともできず、地獄の苦しみを訴えて、僧に回向（えこう）を求めるといった内容の能である。喜多流では「鳥頭」（うとう）と表記している。（注2）



能楽「善知鳥」の里として、青森市に「善知鳥神社」があり、「善知鳥峠」には、謡曲「善知鳥」ゆかりの地という石碑が建てられている。地元には次のような民話が伝えられている。（<https://ja.wikipedia.org/wiki/善知鳥峠>より）

獵師が北国の浜辺で珍しい鳥の雛を捕らえ、息子を伴い、都に売りに行った。

親鳥はわが子を取り戻そうと「ウトウ、ウトウ」と鳴き、獵師の後を追いつづけた。

やがて獵師親子は険しい峠道に差し掛かり、さらに激しい吹雪に見舞われた。

吹雪のなか無理に峠を越えようとする獵師に、親鳥もなお追いつづける。地元の村人たちには吹雪の中ずっと「ウトウ、ウトウ」と鳴き続ける鳥の声が響いたという。

やがて獵師は激しい吹雪のなか力尽き、峠を越えること叶わず、その地に果てた。



吹雪の収まったあと村人たちが峠に出ると、泣きじゃくる息子とわが子をかばうように覆って死んだ猟師の姿があった。またすぐ脇には、同じように鳴き続ける雛鳥と子をかばうように覆って死んだ親鳥の姿もあった。どちらも、命を賭してわが子を吹雪から守ったのであった。村人たちはその鳥が善知鳥（ウトウ）であるを知って猟師とともに手厚く弔い、その地を「善知鳥峠」と呼ぶようになったという。

#### 4. アンケート集計結果

8月15日の「アーサー・ビナードを囲む朗読+お話し会」に実施したアンケートの結果を以下の表1に示す。当日の参加者75名中47名分を回収し、集計した。回収率は62.7%。回答者の内訳：男性9名・女性35名、性別無記入3名。年齢の内訳：20代1名・30代1名・40代3名・50代8名・60代15名・70代15名・80代3名。

表1. アンケート結果（結果の数字を○に示し、最多項目を太字で示す）

<p>1. この朗読会+お話し会をどのようにお知りになりましたか？</p> <p>はがき②⑦ 新聞の告知② 知人・友人⑮ ブログ① その他⑤（家族① 朗読屋さん① 会員③）</p> <p>2. 特に印象に残った朗読作品を○で囲んでください。（複数可）</p> <p>はじまりの日⑫ すばらしいみんな⑰ ありえない！⑳ 花さき山⑰ 雨二モマケズ㉑ ウトウとクイナ⑮ その他②（遺書、モチモチの木）</p> <p>3. 次のどれに興味がありますか？ ○で囲んでください。</p> <p>リレー朗読⑧ 複数での分担朗読⑩ 一人での朗読⑬ 朗読劇⑭ 紙芝居⑦ ギターの弾き語り⑪ ビブリオバトル⑥ その他⑤（ビナードさんの話② 対話・ビナードさんと福田先生② ヒューマンライブラリー①）</p> <p style="text-align: right;">（以下省略）</p>
--


上記の「特に印象に残った朗読作品」の中に「その他②（遺書、モチモチの木）」とある。それはプログラムの終盤に1964年東京五輪のマラソン選手であった円谷幸吉の「遺書」が朗読されたことによる。また、『モチモチの木』は、ビナード氏の英訳が≪The Booyoo Tree（モチモチの木）≫として岩崎書店から9月に発行されるという告知と一部ビナード氏が英訳を朗読したことによる。

##### 4-1. アンケートの自由記述

アンケートの中の「ご意見・ご感想をご自由にお書きください」という自由記述の

部分を以下の8項目に区分して以下の表2～7に示す。枠外に主催者としての補足やコメントなどを付す。(◎は性別・年齢などが無記入である場合)

表2. アーサー・ビナードさんの話

<ul style="list-style-type: none"><li>*アーサー・ビナードさんをはじめて知りました。いろいろな話を聞くことができ、とても充実した時間でした。ありがとうございました。(女性・60代)</li><li>*アーサーさんの話を楽しく聞かせていただいた。(◎・30代)</li><li>*アーサーさんの話が良かった!(女性・60代)</li><li>*残念ですが、月曜の定例会には仕事の都合で参加できません。たっぷりアーサーさんのお話を聞けて、大きな力をもらいました。ありがとうございました。(男性・60代)</li><li>*アーサーさんのお話は、とても魅力的で、いろいろ聞きたいと思う話し方です。(女性・70代)</li><li>*定期的にライブを聴いて、しっかりと考えたい。考える材料を多く提供された分無駄にしないようにしよう。(◎・70代)</li><li>*全体の流れよかった。アーサーさんのお話すばらしい。(女性・80代)</li><li>*アーサーさんのお話も楽しかったです。自己犠牲の話は、考えさせられました。(女性・60代)</li><li>*普段の仕事ではビジネス脳に犯されており、心が浄化できました。(男性・50代)</li><li>*アーサーさんのお話が、とてもとても楽しくて、おもしろくて、声を出して笑えました。＼(^o^)/ (女性・50代)</li><li>*本のタテヨコは、気になっていた。解決できてよかったですね。(女性・70代)</li></ul>	
--	--

上記の「本のタテヨコ」とあるのは、『花さき山』の原文が縦書きで「右開き」、英訳が横書きで「左開き」となることを指している。英訳は横書きで「左開き」になるので、登場人物の体や顔の向きなどが話の進行に逆行してくることをビナード氏は心配していた。絵を反転させようとも考えたようだが、結局そこまではせず、結果的に



ページ進行にさほど影響がないとビナード氏は判断している。

ただし、縦書きで「右開き」の場合では、画面の左側(←)が進行方向の未来を示し、右側(→)が過去を意味しているの、山姥が右向きの体勢(→)であやに語っている場面では、過去の話をしており、それを聞いているあやの体勢や顔の向きは左向き(←)の

ため、暗に未来を見ていることになる。主人公あやの顔の向きは、ほとんどの場面で左向きであるが、山から帰って父母に報告する場面では、右向きの姿勢で語っている。再び、あやが山に向かった時には、左向きで、最後に妹を背負って歩いている場面では、体勢は未来を向いた左向きであるが、顔は妹を振り返るように右向きとなっている。つまり、顔は山姥の話の思い出して過去向きの右向きとなっている。これから未来に向かって成長していく妹は、左向きである。

上記「残念ですが、月曜の定例会には仕事の都合で参加できません」とあるのは、月一回の割で行なっているアーサー・ビナード研究会のことで、詳細は後述する。

### 表3. アーサーさんの言葉・日本語への洞察

- |   |
|---|
| <p>*とても興し良かったです。言葉には文化がとても影響していることを改めて感じ、訳をする時に深く考えていることに感動しました。アーサーさんのお話、考え方、感性、とても好きだなと思いました。自分で考えること、思いを大切にすること、よくわかった。(女性・50代)</p> <p>*翻訳の難しさなどよくわかり、お話がとてもわかりやすく、とてもよかったです。(女性・60代)</p> <p>*アーサーさんのことば、特に日本語への深い洞察に敬服します。(女性・70代)</p> <p>*アーサーさんの説明がよく分かった。英語も最高に良かった。(女性・70代)</p> |
|---|

上記の「言葉には文化がとても影響している」「日本語への深い洞察」とあるのは、ビナード氏が『そもそもオリンピック』の中で三段跳びの織田幹雄が生まれた時の産声「オギャァァ！」について関係してくる点であろう。

日本語には、擬音語・擬態語が多いが、ビナード氏によると子供が生まれる産声を「オギャァァ！」と決まっているのは世界の言語の中で日本語だけだろうとのこと。「オギャァァ！」の「オ」は赤ちゃんが生まれて初めて吸う息を表していて、次に続く「ギャァァ！」は、吸った息を思いっきり、吐き出すときに発する音を表しているという。「オギャァァ！」が産声を上げなければ死産を意味することもある。しかし、産声に込められた意味まで深く考えもせずに使っている。

「英語も最高に良かった」とあるのは、ビナード氏の英訳の朗読が良かった、あるいはエリック・カール氏の『ありえない！』の原文の英語の読み上げが良かったという意味であろう。生まれも育ちもアメリカ人のビナード氏に対して、単に「英語も最高に良かった」というのは、あまり誉め言葉にはならないと思われる。

表4. 終戦の日・敗戦の日に話を聞く

- \*終戦の日にいいお話がききました。アーサーさん、ありがとうございました。  
(女性・60代)
- \*8月15日、敗戦の日に、朗読とアーサー・ビナードさんの貴重なお話をきけてよかったです。政治・政府の言葉のうそ、まやかしを打ち破る市民の力を大切にしたい。  
ありがとうございました。(女性・60代)
- \*何を信じていいのか、わからない時代にさせられていると思う。そこをどう切り開くか、ビナードさんの話は、考えるきっかけになる。(男性・40代)
- \*8月15日を「終戦の日」と呼ばず、「敗戦の日」と言ったのはよかった。大変よかった。(男性・70代)
- \*日本の平和運動の順番は、日本の戦争加害からの学びと反省から始めたらいいと思いますが、どうでしょうか？天皇制をどう思いますか？終戦より敗戦では？  
(男・50代)
- \*スマホの話、戦争の話、コロナの話、考えさせられました。終戦の日、有意義な時間をすごせました。(男性・50代)

上記の自由記述を見ると8月15日を「終戦の日」と言うか、「敗戦の日」と言うかにこだわっている人がかなりいることがわかる。「終戦の日」と言うより、「敗戦の日」と言う方が良いと考えている人達は、日本の戦争責任を加害者として感じている人達であろう。第二次世界大戦を勝利で終えたか、敗者として終えたかは、国の立場によって異なるが、ニュートラルな言い方は「終戦の日」となるであろう。無論、自然現象のように「戦争が終わった日」ではなく、ポツダム宣言を受け入れて、戦争に負けたと認めた日なのだから「敗戦の日」と言うべきと考えている人もいるだろう。それは、それで説得力がある考え方である。

しかし、これからもなお「敗戦の日」と言い続けるのは、負けたことをいつまでも根に持ち、悔しがり、いずれ機会があれば敗者復活戦という戦争で勝利することを望んでいる場合も考えられる。そうすると戦争が果てしなく続くことになるだろう。

アメリカにとっての第二次世界大戦の終了は、東京湾上の戦艦ミズーリ号で行なわれた日本の降伏調印式の1945年9月2日ということになる。

宇部市環境学習ポータルサイト「うべっくる (ubekuru.com)」のお知らせブログー銀天エコプラザで「アーサー・ビナードを囲む朗読会に参加して (山口市民会館)」という以下のような記事を掲載してくれている。

敗戦の日にあたり、日本人としては、自分がどうやって生きてきたか、「されたこと」ではなく、自分たちが「したこと」を振り返ることが大切、8月15日だけでなく、1941年12月の太平洋戦争の始まりの日、開戦の証書を読み返すことが大切と言われる、なるほどと思う。文化放送の「戦後75年スペシャル 封印された真実 ～軍属ラジオ～」は、昨年8月放送の番組が今回、ギャラクシー賞ラジオ部門大賞を受賞した。アーカイブで番組を聞き、戦中のプロパガンダの恐ろしさを実感し、今の時代の放送やマスコミに流されないようにと思いを強くします。(文責：H. Murakami)

([http://ubekuru.com/blog\\_view.php?id=5780](http://ubekuru.com/blog_view.php?id=5780))

表5. 朗読について

- \* 朗読が非常に上手で、うっとり聞いていた。(女性・70代)
- \* 朗読が素晴らしく、引き込まれました。ありがとうございました。(女性・60代)
- \* 絵本の朗読は、皆様表情豊かに聞かせて下さり、楽しかった。(女性・70代)
- \* いろいろとご準備をありがとうございました。(女性・60代)
- \* 楽しく明るいムードで盛会でした。会場の参加者にも朗読していただきたいと思いました。(女性・70代・スタッフ)

朗読に関しては、山口の朗読屋さんが担当したのであるが、後述するアーサー・ビナード研究会においても、8月15日のための朗読の練習と内容の検討などを事前に行なってきた。これまでの朗読会では、会場の参加者にも朗読していただくことにしていたが、今回はプログラム内容を盛り込みすぎたこともあり、時間的余裕がなかった。ビナード氏がしゃべりすぎて、質疑応答の時間もなくなってしまった。

表6. ギターの弾き語りと伴奏について

- \* 「すばらしいみんな」は、本当に歌えるような翻訳になっていてすごいと思った。(男性・50代)
- \* ギターによる「ウトウとクイナ」のBGMイメージも効果的で良かったです。(女性・40代)
- \* 「一人の道」の弾き語りがよかった。(女性・60代)
- \* ギターもムードを上げるのに良い効果がある。(女性・70代)
- \* ギター演奏をバックに朗読されても、盛り上がったと思います。(女性・70代)
- \* ギターの石丸さんの思いも重く感じました。(女性・60代)

上記『すばらしいみんな』は、本当に歌えるような翻訳になっていて…とあるが、オープニングの『はじまりの日』も同様に実際に歌える翻訳になっていて、ビナード氏の翻訳の苦労がうかがえる。

ギターによる『ウトウとクイナ』のBGMイマジンも効果的で良かったとのコメントがあったが、それは同書が今人舎（イマジン舎）の発行であることを考慮して、石丸義臣氏がアレンジして伴奏したといういきさつによるものである。



「一人の道」の弾き語りがよくあったとあるのは、円谷幸吉の「遺書」が朗読され、その遺書をもとに今江真三郎が作詞し、茶木みやこが作曲した「一人の道」を石丸氏がギターの弾き語りしたことによる。「ギターの石丸さんの思いも重く感じました」というコメントも寄せられた。

表7. 福田百合子先生とのコラボ企画

- \*アーサーさんと福田先生のやりとりがおもしろかった。(女性・70代)
- \*福田百合子先生が登場されるとステージが明るく感じられ、百合子先生のオーラを感じた。季節を感じさせる生け花が、会場に涼しげな雰囲気をかもしだしていた。(女性・50代・スタッフ)

上記の「アーサーさんと福田先生のやりとり」というのは、ビナード氏が中原中也賞を取った時の中原中也記念館の館長が福田百合子先生であったことから、ビナード氏という大物を『釣り上げては』みたものの朗読会本番に音信不通になっていたビナード氏が本当に現れるのか、心配でやってきたという話を指していると思われる。

福田先生が登場されたのは『雨ニモマケズ』の日本語を朗読し、ビナード氏が英訳を読み上げるというサプライズを企画したためであった。前述したアンケート結果の「特に印象に残った朗読作品」でも『雨ニモマケズ』がトップになっている。

当日は、「大雨ニモマケズ」ビナード氏が駆けつけてくれたからよかったものの、現れなかったら、大穴があくと関係者をハラハラさせた。ともかく参加者にビナード氏ファンだけではなく、福田百合子ファンも多かったことも幸いであった。

## 5. 図書館への要望

8月15日の準備段階として、次のような要望を山口県立山口図書館館と山口市立図書館に対して行なった。それは、2021年4月5日の時点で、朗読会で紹介しようとしていたビナード氏の新しい本が図書館に配架されておらず、蔵書検索システムでも検出

できなかつたためである。

山口県立山口図書館館長殿

貴図書館において下記の図書を収蔵し、閲覧・貸し出しができるようにして下さることを要望します。

① 『英語と日本語で読んでみよう 世界に勇気と希望をくれたメッセージ』

全4巻 <第1巻 コロナ禍の中で 第2巻 平和・人権に関して  
第3巻 環境の問題 第4巻 文化・スポーツ界で>  
パトリック・ハーラン著・監修 岩崎書店発行 (2020年~2021年)

同書に関しては、防府図書館、下松図書館、岩国図書館などで収蔵されていますが、山口県立山口図書館、山口市立図書館では収蔵されていません。

② 『ありえない!』 エリック・カール作、アーサー・ビナード訳

偕成社発行、2021年3月17日 収蔵されていません。

③ 斎藤隆介作、滝平二郎絵『花さき山』の英語版『Heartbloom Hill』

(アーサー・ビナード訳) 岩崎書店発行 (2020年11月16日)

すでに同書の英語版『The Mountain of Flowers』が収蔵されているが、アーサー・ビナード訳の『Heartbloom Hill』は収蔵されていません。

以上、6点を早急に収蔵されることを切に希望します。もし、そうできない理由があるのであれば、書面にて下記まで回答していただきたいと存じます。

2021年4月5日

〒753-0815 山口市維新公園1-12-5

山口の朗読屋さん 代表 林 伸一

上記の要望に「書面にて下記まで回答していただきたい」としていただいてもかかわらず、書面による回答はなく、4月9日に山口県立山口図書館より電話による回答があった。要望の図書はすでに購入済みであるが、同館内の「山口県子ども読書支援センター」が「新刊児童書閲覧会」を行なうので、それまでは館内に配架しておらず、コンピューターによる蔵書検索システムにもアップしていないとのことであった。

ちなみに上記要望の中の『英語と日本語で読んでみよう・世界に勇気と希望をくれたメッセージ』の全4巻の<第4巻 文化・スポーツ界で>の中には、ビナード氏がチャールズ・チャップリン、ボブ・ディラン、クーベルタン、加納治五郎と並んで紹介されている。表紙にもビナード氏の写真が出ているが、本文中にも「ボブ・ディランの歌詞を日本語に、宮沢賢治の詩を英語に訳した人として紹介され、ビナード氏の

ページが6ページ掲載されている。その中には、2019年に山口県でおこなわれた朗読会（「山口の朗読屋さん」主催）で、『はじまりの日』の翻訳について話すビナード氏の写真も掲載されている。

「新刊児童書閲覧会」まで、新着図書を別置き、配架していないことに納得できなかったので、下記のような公開質問状を作成し、4月12日の「春の朗読会」参加者の賛同署名を添えて送付した。



## 6. 山口県立山口図書館館長・山口県子ども読書支援センター西浦氏への公開質問状

山口県立山口図書館 館長殿  
山口県子ども読書支援センター 西浦様

### 「新刊児童書閲覧会」実施に関する公開質問状

貴図書館において山口県子ども読書支援センターが行なう「新刊児童書閲覧会」の実施に関して、大きな疑問がありますので、以下の通り公開質問状の形で、質問します。なお、回答は書面にてお願い致します。

貴図書館では、年に三回（5月、7月、12月）に「新刊児童書閲覧会」を実施し、市町立図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア関係者、子どもの本に関心のある人を対象に各4か月分の新刊児童書を閲覧させるとのことです。

来月、5月の19日から23日にかけて行なわれる「新刊児童書閲覧会」では、令和2年12月から令和3年3月までに山口県立山口図書館で受け入れた子ども向けの本約800冊を展示するとのこと。

つまり「新刊児童書閲覧会」というイベントのために800冊の本が、4か月間もの間、一般の利用者が見られないところに別置され、コンピューター上の検索システムにも表示されない状態におかれていることとなります。特別の申し入れがない限り、一般の図書館利用者は閲覧もできず、貸し出しもできない状態にあるわけです。

市町立図書館職員などを対象として「新刊児童書閲覧会」を実施しているとのことですが、山口市立の中央図書館、小郡図書館、阿知須図書館などは、入口近くに「新刊書コーナー」を設置し、受け入れた新刊書をいち早く展示し、貸し出しできるようにしています。

なぜ、山口県立山口図書館が「新刊書コーナー」を設置し、受け入れた新刊書を



いち早く展示し、貸し出しできるようにしないかという疑問には、「新刊児童書閲覧会」があるからとの返答でした。「子ども読書支援」の名目のもとに実施されているイベントが、実は「子どもの読書」を阻害する形で実施されているのではないのでしょうか？情報公開の観点からも、受け入れた新刊書はいち早く展示し、貸し出しもできるようにしてほしいと思います。

2021年4月12日 〒753-0815 山口市維新公園1-12-5  
山口の朗読屋さん 代表 林 伸一

上記の「新刊児童書閲覧会」実施に関する公開質問状に関して、5月6日付けで、山口県立山口図書館・読書推進グループ（山口県子ども読書支援センター）より以下のような文章による回答があった。

#### 7. 山口県立図書館読書推進グループ（山口県子ども読書支援センター）よりの回答

令和3年（2021年）4月12日付「新刊児童書閲覧会」実施に関するご質問について下記のとおり回答します。[質問（抜粋）は省略]

##### 記

〔回答〕山口県子ども読書支援センターは、子どもの読書活動を総合的に推進するため、家庭、地域、学校等における組織を支援する組織として、県立山口図書館内に設置し、①児童図書や子どもの読書活動に関する様々な資料・情報の収集・提供、②子どもの読書活動を支える人材の育成、③児童図書を収集する県内の公共図書館等（学校図書館や市町立図書館、子どもの読書活動団体など）の連絡・協議の推進等に取り組んでいます。

「新刊児童書閲覧会」は、こうした取組の一環として、当館が新たに収集した資料を一度に展示することで、児童図書を収集する県内の公共図書館等が選書する際に参考となる情報を提供する事業であり、収集担当者の選書の研修の場としても機能しています。

また、ここで展示した児童図書は、近辺に大型書店や公共図書館がない小・中学校、総合支援学校等を対象に実施している「出前こどもとしゃかん」事業で、本の展示やブックトークを行った後に児童・生徒へ貸し出し、新しい本に出会う機会の少ない児童・生徒へ、新刊児童書として提供しています。

このように、新規受入した児童図書の一部は、県立図書館として、県内における子どもの読書推進、公立図書館等の支援のために一定期間使用しています。

なお、当該資料は、収集担当者等の選書の参考のためであれば、お求めに応じて閲覧、貸出も行っています。

現在、新刊児童書閲覧会に使用する児童図書の情報については、網羅的な情報提供の方法を検討しているところですが、その一部については、すでに当館のメールマガジンや山口県子ども読書支援センターニュースの中で、新刊紹介として受入情報を発信していますので、ご活用ください。

今後とも、本県の子どもの読書推進のための県立図書館としての取組につきまして、格別の御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和3年（2021年）5月6日 山口の朗読屋さん 代表 林 伸一様

山口県立山口図書館 読書推進グループ  
(山口県子ども読書支援センター)

上記の「子どもの読書活動団体」との連絡・協議の推進等に取り組んでいるとのことであるが、「山口の朗読屋さん」は、年間120冊以上の子どもの図書を山口県立山口図書館から借りて、児童館などでお話し会などを行っているにもかかわらず、「新刊児童書閲覧会」のお知らせなどは、一度もいただけていない。

#### 8. 新型コロナウイルス感染防止のための臨時休館の処置に関する公開質問状

8月15日の朗読会+お話し会においてもビナード氏より、新型コロナウイルスについての問題提起があり、ちょうど9月5日のアーサー・ビナード研究会で前掲のアンケート結果についても検討しようと考えていたが、図書館が一月の臨時休館に入ってしまった。関係図書を借りられない状態に至ってしまったため、以下のような公開質問状を作成し、山口県立山口図書館館長あてに送付した。

山口県立山口図書館館長殿

#### 新型コロナウイルス感染防止のための臨時休館の処置に関する公開質問状

貴図書館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月26日から9月26日まで臨時休館していますが、その処置について次の4点の疑義があるので、公開質問状の形で質問させていただきます。回答は、下記の住所あて書面にてお願い致します。

1. 昨年の貴館の新型コロナウイルスの感染拡大防止のための臨時休館は、県内の公立学校の一律休校に連動した処置だったと思われます。しかし、今回の県立お

よび市立図書館の臨時休館は、県内の公立学校が、授業を実施しているにもかかわらず、一か月にわたるものとなっています。その矛盾について納得のいく説明をいただきたい。

2. 山口県は緊急事態宣言も蔓延防止等重点措置も発出されておらず、図書館、児童館、地域交流センターなどの公的施設を休館にする法的根拠がないと思われる。いかなる法的な根拠に基づいて、今回の臨時休館が実施されているのか、明示していただきたい。
3. 今回の臨時休館は、人と人との接触削減を求めると思われるが、昨年来山口県内外の公立図書館が新型コロナウイルス感染のクラスターとなった事例があるのか、あれば明示していただきたい。昨年来、屋形船やライブハウス、カラオケ、パチンコ店、飲食店などが感染のクラスターになったとの報道はあるが、図書館が感染のクラスターになったとの報道は見当たらない。もしないのであれば、これまでの図書館の臨時休館は、事実に基づかない過度な予防処置であると言わざるを得ない。その点について、事例データをもって、納得のいく説明をいただきたい。
4. 山口県は、新型コロナウイルスに対するワクチン2回接種率が全国一位の60%以上とされている。ワクチン接種により、感染が抑制されていると思われるが、ワクチン接種前の昨年同様、外出自粛や施設使用制限をもって感染を防止しようとする情勢判断に疑義を感じざるを得ない。日本政府や経済界から、外出自粛や施設使用制限を緩和する考え方が示されている。社会経済活動を容認し、公共施設や図書館は再開が可能であると考えている。

貴図書館の臨時休館措置をすみやかに解除し、新型コロナウイルス感染防止の方策を取りながら、開館されることを強く求めたい。それができないなら、理由を明示してほしい。

このまま臨時休館措置を継続するなら、図書館自身が自らを「不要不急の存在」として位置づけることとなり、社会教育的存在理由を失うこととなる。

以上、4点に対して9月20日までに回答していただきたい。書面による質問には、書面にて回答いただくのが、マナーであると考えてるので、電話による回答はお断りします。

2021年9月14日

山口県教育カウンセラー協会 山口の朗読屋さん  
代表 林伸一 (〒753-0815 山口市維新公園1-12-5)

上記の質問状が出された時点では「新型コロナウイルスに対するワクチン2回接種率が全国一位の60%以上」であった。全国一位になった理由は「8月末から2週間で県内に入るファイザー社製ワクチンもその前の2週間の約1割しかなかったが、市町間の融通で乗り切った。さらに県の集団接種会場の予約を各市町が受け付けたのも大きい」とされている。ワクチン接種前の昨年同様、外出自粛や施設使用制限をもって感染を防止しようとするものの是非を現時点で再検討する必要があると思われる。上記の質問状に対して、9月18日付で、以下のような回答が届いた。

#### 9. 山口県立山口図書館・総務管理グループよりの回答

2021年9月14日付でいただいた「新型コロナウイルス感染防止のための臨時休館」の処置に関する御質問1～4にまとめてお答えします。

県（新型コロナウイルス対策本部）が感染拡大防止の観点から、人流抑制のため8月25日に決定した「デルタ株感染拡大防止集中対策」の強化、及び9月9日に決定した同対策強化の期間延長において示された「原則として、県有施設は休館」（8月26日～9月26日）とする方針に基づき、山口県立図書館規則の規定により当館においても現在、臨時閉館しています。

ただし、その期間は、インターネットや電話による予約貸出、レファランス等のサービスを行っているところです。

なお、質問1の公立学校の休校等について、当館はお答えする立場にありません。また、質問3の公立図書館におけるクラスター事例については、承知しておりません。

このたびの臨時閉館により、大変御不便をおかけしておりますが、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年（2021年）9月18日

山口の朗読屋さん 代表 林 伸一様

山口県立山口図書館 総務管理グループ

上記質問状が35行の内容であったのに対して、その回答は、わずか14行しかなく、丁寧さと誠意に欠ける印象を受ける。

上記回答において「原則として、県有施設は休館」とあるのに、県立高校などの県有施設が休校にはならず、県立図書館が休館になっていることに矛盾を感じて質問しているのに「質問1の公立学校の休校等について、当館はお答えする立場にありま

せん」との回答は、木で鼻をくくったような印象を受ける。役所の縦割り行政の問題があるだろうが、学校教育と社会教育の連携などは、どうなっているのでしょうか。

同じ山口県立山口図書館の読書推進グループ（山口県子ども読書支援センター）からの5月6日の回答に「小・中学校、総合支援学校等を対象に実施している『出前こどもとしょかん』事業で、本の展示やブックトークを行った後に児童・生徒へ貸し出し、新しい本に出会う機会の少ない児童・生徒へ、新刊児童書として提供しています」とある。県立図書館としても小・中学校、総合支援学校等と連携しているということで「公立学校の休校等」と無関係ではないと思われる。

また、質問3の公立図書館におけるクラスター事例については、「承知しておりません」との回答は、そういった事例を「探してみたが見つからなかった」という意味なのか、「探してみようとしなかった」という意味なのか不明である。いずれにしても、公立図書館におけるクラスター事例がないにも拘らず閉館するのはおかしい。

## 10. アーサー・ビナード研究会と今後の課題

2021年 アーサー・ビナード研究会				
回	開催日	テーマ・内容	会場	参加
① 第12回	4月5日 月曜日	アーサー・ビナードの翻訳絵本『父さんがかえる日まで』論	山口児童館	11名
② 第13回	5月10日 月曜日	翻訳絵本『Heartbloom Hill（花さき山）』（斎藤隆介・滝平二郎）	山口児童館	12名
③ 第14回	6月7日 月曜日	翻訳絵本『ありえない!』（エリック・カール作）ビナード訳	ギャラリーカフェつるかめ	10名
④ 第15回	7月5日 月曜日	アーサー・ビナードのラジオ番組ギャラクシー賞（三度目の受賞）	山口児童館	14名
⑤ 特別回	8月15日 日曜日	アーサー・ビナードを囲む朗読＋お話し会（副ニモマケズ・ウトウとクイナほか）	山口市民会館小ホール	75名
⑥ 第16回	9月6日 月曜日	8月14日の朗読会アンケート結果の検討と反省会（新型コロナ問題）	ギャラリーカフェつるかめ	14名
⑦ 第17回	10月25日 月曜日	アーサー・ビナードの俳句的日常『モチモチの木』原文とビナード訳	山口児童館	12名
⑧ 第18回	11月29日 月曜日	ビナード氏の翻訳作品について＜翻訳は原文を超えられるか＞	山口児童館	12名
⑨ 第19回	12月20日 月曜日	縦書き文化と横書き文化について＜順勝手と逆勝手の方向性＞	山口児童館	13名

2019年8月11日に「アーサー・ビナードとともに平和を考える朗読会」が開かれたのを契機に「アーサー・ビナード研究会」がスタートし、月に一回の割合で、会合をもってきた。詳細は、「アーサー・ビナードと谷本清平和賞—絵本と紙芝居の果たす役割を考える—」（林、2021a）を参照していただきたい。

2019年度は、山口の朗読屋さんが主催していたが、2020年度は、「アーサー・ビナード研究会」を独立させて企画・運営させようと試みた。2020年7月20日にビナード氏

を招き、「アーサー・ビナード下堅小路にやってくる！」という朗読+お話し会を実施することができた。なお、山口智子氏が「こどもと本ジョイントネット21」のブログに毎回研究会の告知をアップしてくださっている。

2021年度は、「アーサー・ビナード研究会」を山口の朗読屋さんの一分科会扱いにして、上記のようにアーサー・ビナード研究会を第12回から19回まで開催してきた。第13回と第14回目の研究会の様子が下記のような新聞記事となって報じられた。

2021年 5月19日 (水曜日)

長 周 新 聞

**【読者通信】 第三回** アーサー・ビナード研究会が10日午後二時から山口市の山口児童館で開かれ、絵本『花さき山』(斎藤隆介・文、滝平二郎・絵)をアーサー氏が翻訳して昨年一月に発行した『Heart bloom Hill』(花さき山)をとりあげた。参加者が日本語と英訳の両方を一場面ごとに輪読した。

元中学校教師は『八郎』『三』『ペロ出しチヨンマ』など『自己犠牲』の道徳教育によく採用される斎藤・滝平の作品をなぜアーサー氏が翻訳しているのかについて

二〇一三四五九

**アーサー・ビナード研究会**



八月十五日(日)

て、アーサー氏の生い立ちや現代日本の児童虐待の問題とからめて持論を展開した。

アーサー氏は現在斎藤・滝平による『モチモチの木』の翻訳にも取り組んでいるという。

八月十五日(日)にはアーサー氏が山口市を訪れ、山口市民会館小ホール(定員九四〇人)で「アーサー・ビナードを囲む朗読+お話し会」を予定している。

次回、第一四回アーサー・ビナード研究会は六月七日(月)午後二時から四時まで、山口児童館(山口市下堅小路二五四)でおこない、アーサー・ビナードの翻訳絵本『ありえない』(エリック・カール作)をとりあげる。参加費五〇〇円。連絡先は山口の朗読屋さん(林伸一) 電話〇九〇一六四一五八二〇三 FAX〇八三一九二〇一三四五九

長周新聞 2021年6月14日付



アーサー・ビナード研究会『ありえない』を輪読し交流

**【読者通信】 第一四回** アーサー・ビナード研究会が七日午後二時から四時まで山口市の喫茶つるかめでおこなわれた。今回はエリック・カール作、アーサー・ビナード訳の絵本『ありえない』をとりあげた。

はじめに山口の朗読屋さんの林伸一代表から、

アーサー氏が出演したラジオ番組「文化放送・戦後七五年スペシャル」封印された真実、単属フジオ」が、第五八回「ギヤラクシー賞」ラジオ部門大賞を受賞したことが報告された。

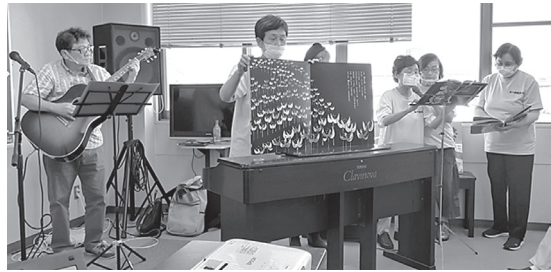
林氏は絵本『ありえない』について「この作品は原文では『ナンセンスショー』だがアーサーさんは『ありえない』と訳している。絵本の扉をあけるとまた表紙が出てきて、鹿の角に花が咲いて

いる。確かに『ありえない』。前回とりあげた『花さき山』もなにか良いことをしたら花が一つ咲くというお話だった。アーサーさんはなぜ『ありえない』話の翻訳をするのか。私は『ありえない』ことを描くのが芸術の面白さの原点ではないのかと思っている」と述べた。

続いて参加者が『ありえない』のなかの一話一話を輪読し、作品のどこがどのように『ありえない』のか説明し、自己紹介とともにそれぞれの感想や『ありえない』経験を披露した。人間の体が上半身と下半身とに分かれている絵について、「気持ちばかりが先走る私のよう」という感想が出された。

今後、どのような形で「アーサー・ビナード研究会」を企画・運営していくかが、これからの課題となる。

右の写真は、10月10日にサンライフ防府で行なわれた「家族みんなのフェスタ」で『花さき山』の公演を行っている場面。



2021年度は、日本の絵本のビナード訳の英語を活かして、子どもの英語学習に役立てられないかを模索してみたが、コロナ禍もあり、思うようには実施できなかった。

2022年からは、「アーサー・ビナード研究会」で積み重ねてきた知見をどのように山口の朗読屋さんの活動に活かしていくかが、問われている。

(注1) ウトウが群生し、魚を食べ、子育てする様子はNHKの「ダーウィンが来た！」で「鳥の楽園」北海道・天売島（てうりとう）。周囲12キロの小さな島に300種以上が集う。100万羽の「ウトウ」が夕暮れの空を埋め尽くす“海鳥大乱舞”は圧巻」と紹介された。（初回放送日：2021年12月12日、再放送：12月19日）

(注2) 写真は東京の「代々木果廻会六月定例公演（2013年6月12日）」のもの。同公演のダイジェスト版の動画は、YouTube「能・日本の伝統芸能」で見られる。

【撮影協力：代々木能舞台】（<http://www.yoyoginoubutai.com/>）

能の「善知鳥」は、地元に伝わる民話の後日譚となっている。

#### 【参考文献】

林 伸一（2020）「アーサー・ビナードについての研究—絵本の朗読と図書館の役割を考える—」山口大学文学会発行『山口大学文学会志』第70巻、pp.49-69

林 伸一（2021a）「アーサー・ビナードと谷本清平和賞—絵本と紙芝居の果たす役割を考える—」山口大学文学会発行『山口大学文学会志』第71巻、pp.57-74

林 伸一（2021b）「アーサー・ビナードの翻訳絵本—『父さんがかえる日まで』論—」山口大学人文学部異文化交流研究施設発行『異文化研究』第15号、pp.12-31

#### 【引用文献・絵本等】

アーサー・ビナード著（2000）『詩集・釣り上げては』思潮社

アーサー・ビナード著（2011、2014）『亜米利加ニモ負ケズ』2011、日本経済新聞出版社／2014、新潮社新潮文庫

アーサー・ビナード構成／丸木俊・丸木位里絵／紙芝居（2019）『ちっちゃいこえ』  
童心社

アーサー・ビナード著（2020）『そもそもオリンピック』スズキコージ画／玉川大学  
出版部

エリック・カール作／アーサー・ビナード和訳（2021）『ありえない！』偕成社

エリック・カール作／アーサー・ビナード和訳（2014）『えをかくかくかく』偕成社

エリック・カール作／もりひさし訳（1976）『はらぺこあおむし』偕成社

斎藤隆介・文／滝平二郎・絵／アーサー・ビナード英訳（2021）『The Booyoo Tree（モチモチの木）』岩崎書店

斎藤隆介・文／滝平二郎・絵／アーサー・ビナード英訳（2020）『花さき山（Heartbloom Hill）』岩崎書店

斎藤隆介・文／滝平二郎・絵（1969）『三コ』福音館書店

斎藤隆介・文／滝平二郎・絵（1967）『八郎』福音館書店

パトリック・ハーラン著・監修（2021）『英語と日本語で読んでみよう・世界に勇気  
と希望をくれたメッセージ』全4巻＜第4巻 文化・スポーツ界で＞ 岩崎書店

ボブ・ディラン作／ポール・ロジャース・絵／アーサー・ビナード和訳（2010）『は  
じまりの日』岩崎書店

ボブ・シール&ジョージ・デヴィッド・ワイス作／ティム・ホプグッド絵／アーサー・  
ビナード和訳（2014）『すばらしいみんな』岩崎書店

三上寛・文／黒田征太郎・絵／アーサー・ビナード英訳（2020）『ウトウとクイナ  
Puffin and Rail』今人舎

宮沢賢治・文／山村浩二・絵／アーサー・ビナード英訳（2013）『Rain Won't（雨ニモ  
マケズ）』今人舎

モーリス・センダック作／アーサー・ビナード和訳（2019）『父さんがかえる日まで』  
偕成社

## 【謝辞】

2021年8月15日の「アーサー・ビナードを囲む朗読＋お話し会」で大型スクリーンに絵本を投影することを許可して下さった岩崎書店、偕成社、今人舎の各社に深くお礼申し上げます。お陰で絵が見やすかったと参加者からの声が寄せられました。

長州新聞の記事の本稿への転載に関して、快諾していただいたことを感謝いたします。また、アーサー・ビナード研究会と山口の朗読屋さんの朗読会などの告知を毎回丁寧に「こどもと本ジョイントネット21」のブログにアップして下さっている山口智子氏にこの場を借りて、心から感謝いたします。